

## ふえーぬ風

発行 〒901-1115  
 沖縄県南部農業改良普及センター  
 南風原町字山川517  
 TEL:(098)-889-3515  
 FAX:(098)-835-6010



## 令和6年度沖縄県農業士認定式

令和6年9月6日(金) 沖縄県庁4階講堂にて令和6年度沖縄県青年農業士・指導農業士及び女性農業士認定式が行われ、新たに指導農業士11名、青年農業士1名、女性農業士5名が認定されました。



南部地区からは、青年農業士として北大東村の浅沼崇夫さん、指導農業士として南城市の小田哲也さん、豊見城市の安谷屋剛さん、女性農業士として南城市の玉城早貴子さん、八重瀬町の東江秋美さんの計5名が認定されました。



また、前日の9月5日(木)には南部地区農業士会の会員と新たに認定された農業士に加え、南部地区農業青年クラブ連絡協議会と合同で、宜野座村に移転した農業大学校へ視察を行いました。

(普及企画班 岡田亜希子 屋宜美智子)

# 果樹における台風対策

昨年は8月に台風6号が襲来し、パッションフルーツやマンゴーで被害が発生しました。今年はまだ台風が襲来していませんが、9・10月はまだ台風シーズン。しっかりと事前に準備しましょう。



## マンゴーにおける台風対策

### 【事前準備（日常管理）】

- ①防風対策として、防風垣や防風ネットなどをハウス周辺に設置しましょう。
- ②ハウスの補強・メンテナンスや周辺に飛ばされそうな資材がないか確認しましょう。

### 【事前対策（直前管理）】

- ①かいよう病対策として銅剤などの殺菌剤を散布しましょう。
- ②施設内の二重ネット（内張り）の設置で強風を軽減しましょう。

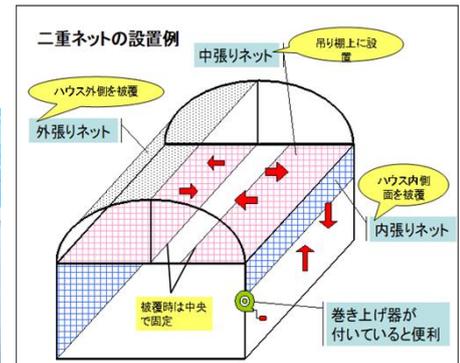
塩害による被害



防風垣・ネットの設置



二重ネットの事例



### 【事後準備】

- ①高温対策：内張りやハウスの締切でハウスが高温になります。通過後は速やかにハウスを開けて、涼しい環境に戻しましょう。
- ②塩害対策：塩害の恐れがあるため、樹全体を水で洗い流しましょう。



## パッションにおける台風対策

### 【事前準備（日常管理）】

- ①マンゴー同様の対策。

### 【事前対策（直前管理）】

- ①定植前の苗はハウス外（倉庫など）で一時保管、ハウス内で保管する場合は小型の簡易ハウスを作り、強風に備えましょう。
- ②定植直後の場合、株を倒して防風ネットで被覆しましょう。また、株の上にそのままべた掛けすると風で擦れやキズが発生しやすいため、パイプなどを使い、株とネットの間に空間を作るようにしましょう。
- ③ハウス内全面に敷草やマルチ、防草マルチを設置し、土の露出を避けましょう。（土が露出していると雨による跳ね返りなどで疫病や円斑病が発生しやすくなります）
- ④主枝を誘引している場合は、園芸用の支柱か竹を使い、強風で動かないよう固定しましょう。また、枝先部はネットで覆い生長点を保護しましょう。
- ⑤電球は事前に取り外しましょう。

苗用の簡易ハウス



防風ネットの被覆



内張りと敷草マルチ、生長点の保護



### 【事後準備】

- ①株をネットで被覆している場合、早めにネットを除去し、株を起こしましょう。
- ②塩害の恐れがあるため、葉を水で洗い流しましょう。
- ③茎に疫病が発生した場合、病徴部を切除し、ゆ合剤を塗りましょう。
- ④樹勢回復のため、液肥のかん注または葉面散布を行いましょう。（園芸技術普及班 島尻庸平）

# 生育初期のアザミウマ類の防除

## 粒剤、使ってますか？

キクの生育初期に粒剤を施用することで、アザミウマの発生を一定期間抑制できることは過去の実験等でも明らかになっています。

初期からアザミウマを発生・蔓延させてしまうと、生育に悪影響を及ぼし、中盤・後半まで響くこともあります。また、頻回な薬剤散布が必要になり、手間も費用も増大します。粒剤を使って効率的なアザミウマの防除をおこないましょう。

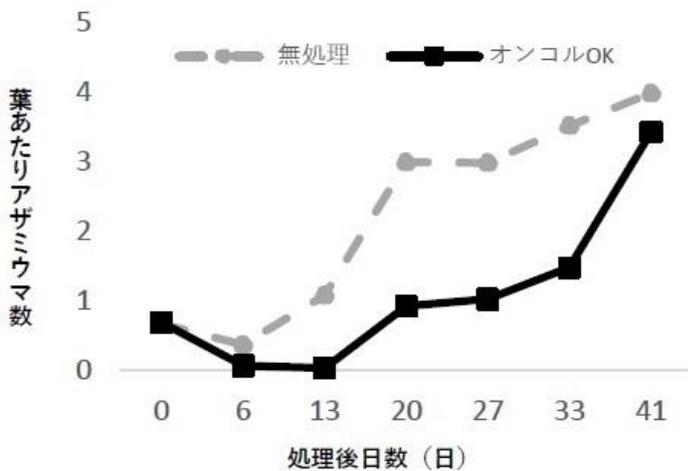


アザミウマの被害

商品名	IRACコード	特徴
ガゼット 粒剤	1 A	根から吸収して効果を発現 (遅効的、生育初期に適)
オンコルOK粒剤	1 A	
ジェイエース 粒剤	1 B	
アドマイヤー 1 粒剤	4 A	
ベストガード 粒剤	4 A	虫と接触して効果を発現 (速効的)
トクチオン細粒剤F	1 B	

### キクで使える粒剤 (例)

\*有効成分は根から吸収するので、直挿し栽培の場合は発根を確認後に施用してください。(トクチオン細粒剤を除く)



粒剤施用によるアザミウマの抑制事例



「キク類におけるアザミウマの総合的防除対策マニュアル」より

### 疫病の症状例



### 疫病が多発しています



疫病の遊走子嚢 (赤丸)

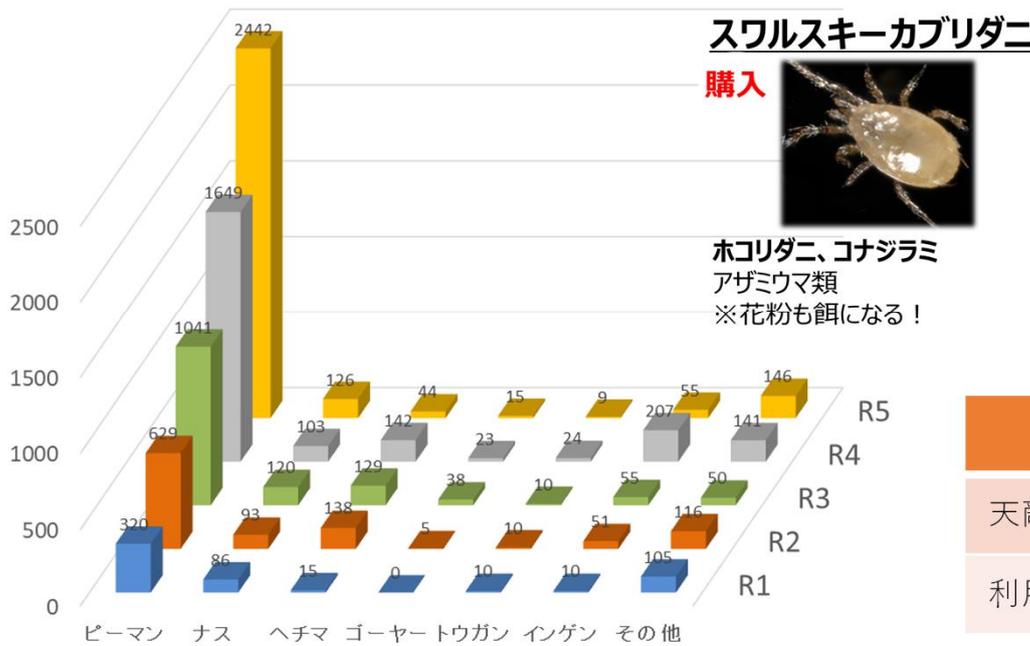
キクの親株圃場や定植後間もない本圃での発生事例が多いです。疫病の病原菌は水を伝って伝播します。また、作が終わっても土壌中に菌が残って、翌年に再発生が起こりうる土壌病害です。発生してしまったら、株を引き抜き圃場外にて処分後、薬剤を灌注してください。また、作型が終了した際には土壌の消毒も検討してください。

(園芸技術普及班 中村悟之)

# 天敵を使った野菜の害虫防除について

南部地区では、ピーマン・ナスを中心に天敵を使った害虫防除に取り組んでおり、特にピーマンでは天敵の利用が普通の防除のように定着しています。グラフ1で示したように、過去5年間で南部地区の天敵の利用状況は急激に増加しています。増加した要因としては、スワルスキーカブリダニとタバコカスミカメなどの使いやすい天敵の種類が増えたこと、天敵を入れるまでの農薬の影響がわかってきたこと等が上げられます。

また、最近ではヘチマ、インゲン、オクラおよびトマト・ミニトマトでの利用も増加しており、今後も天敵の利用が増えていく見込みです。  
(園芸技術普及班 二神和靖)



## スワルスキーカブリダニ

購入



ホコリダニ、コナジラミ  
アザミウマ類  
※花粉も餌になる!

## タバコカスミカメ

収集



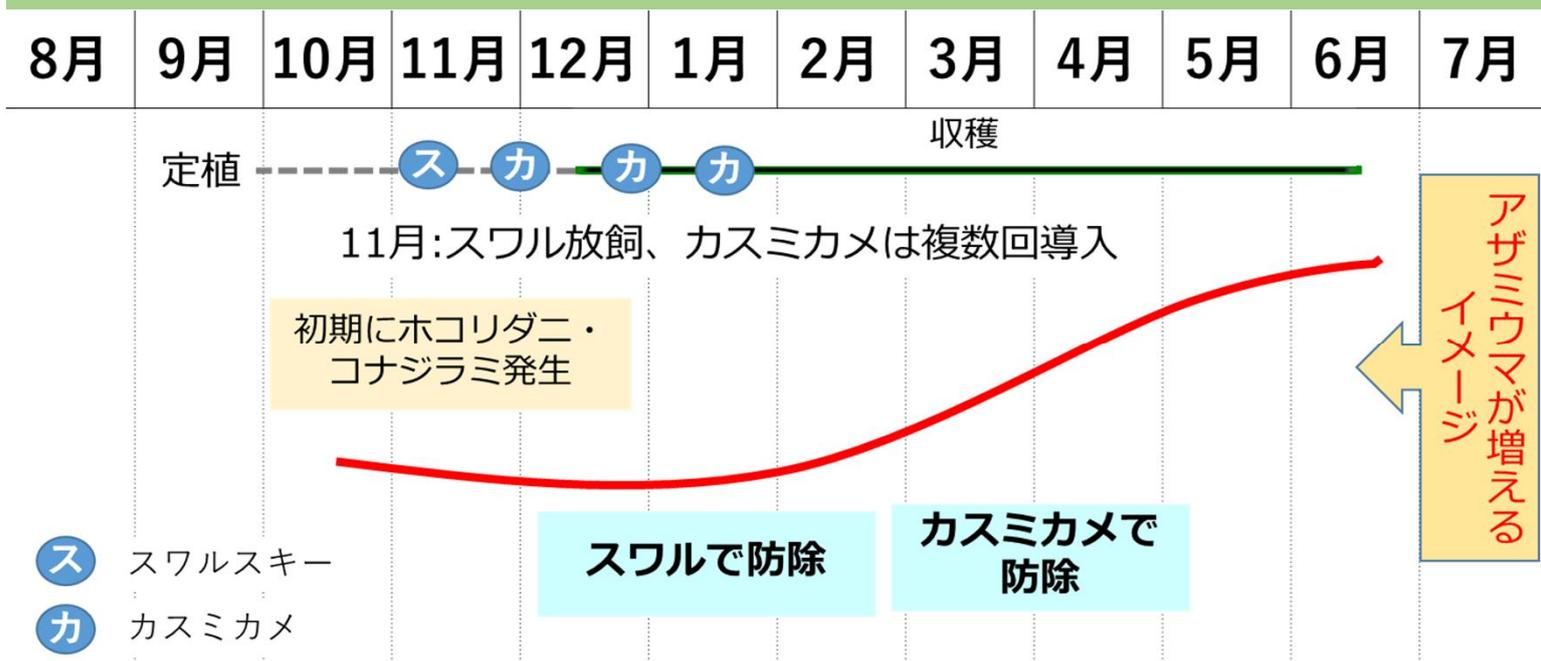
アザミウマ類、コナジラミ類  
夏に自分で集める(ゴマ等と呼ぶ)  
ハウスにゴマ・クレオメを植えて増殖。

	令和1年	令和5年
天敵戸数	41戸	150戸
利用面積	547a	2,837a

グラフ1: 南部地区年度別品目別天敵利用状況 (面積: a)

表1: 南部地区天敵利用農家数と利用面積

## ~ピーマンでの天敵の使用例~



- ス スワルスキー
- カ カスミカメ

- 栽培初期に問題になりやすいホコリダニは、カスミカメは食べない  
→ホコリダニ対策はスワルスキー
- 温かくなるとアザミウマが増えるスピードが早くなる。  
→カスミカメはアザミウマ成虫も捕食可能

J A ・農薬メーカーと連携して、講習会を開催しています。

# 養牛情報（酪農目線から）

まず、**暑熱対策**と**サシバエ対策**を行うことで、乳量の低下や繁殖成績の低下等の生産性の低下を防ぐことが期待できます。普段皆さんが取り組んでいる内容を確認して、暑熱対策＋サシバエ対策として、自分の農場に合った可能な対策から実施してみましよう。

## 暑熱対策

普及センターの調査より、4月より11月まで暑熱ストレスが生じ、7～9月は深夜もストレスが高いことが分かっています。牛をバテさせないため日々の暑熱対策を確認しましょう。

### 【対策①】

扇風機での送風&ミスト散布、強制換気、日よけ

### 【対策②】

気温の低い時間帯の給餌、給与回数を増やす、ME含量の高い飼料(ビートパルプ等)の利用、油脂、ビタミン、重曹の添加、粗飼料の細断、糞尿除去による牛体の汚れ防止、ウォーターカップの清掃

参考文献：令和2年及び5年普及だより、日本飼養標準

※風速調査も実施できますので、通風状況を調べたい方がいましたら普及センター又は県酪へ問い合わせください。

※また、扇風機やミスト散布等の整備要望がありましたら引き続き一部補助がありますので、県酪へ問い合わせください。

## サシバエ対策



普及センターでは3戸の農家の協力を得てサシバエの成虫数調査を行っています。

サシバエは牛へのストレスや不快感を与え、乳量や増体へ悪影響を及ぼすので、対策が必要です。

調査は途中ですが、令和6年度はサシバエ数が少なく牛も快適に過ごしていると思います。しかし、虫の発生は変動がありますので、油断せずに引き続き以下の対策を行い、発生しにくい環境を作りましょう。

### 【対策】

スクレーパー等の清掃、柱や飼槽周りの残滓の清掃、畜舎周りの除草、幼虫対策にはIGR剤等の薬剤散布

参考文献：令和2年普及だより、令和3年「ハエ対策」釧路総合振興局

※サシバエ調査については定期的に県酪勉強会でも報告していく予定です。また、1農家については、天敵を利用した防除効果について調査中です。調査結果等興味がありましたら普及センター又は県酪へ問い合わせください。

**さいごに**、今回は、普及センターが取り組んでいる暑熱対策とサシバエ対策について記載しました。ほかにも、県酪と連携し、各農家の経営面の評価シートの作成、子牛の飼養管理の改善や畜産課等関係機関と連携し、自給粗飼料対策について取り組んでいますので、引き続き、個別巡回や県酪勉強会などを通して情報提供していきます。

# 離島情報 (久米島町)

## 1. 油断禁物！病害対策徹底の取組【かんしょ】

令和元年度以降、「サツマイモ基腐病」の影響による大幅な減産が続きましたが、対策の継続により、回復の兆しを見せております。しかし、**病害はゼロではなく、油断禁物**なため、引き続き、苗消毒を基本とした総合的な対策徹底に取り組んでいます。



土壌消毒



苗消毒



茎葉消毒



適期収穫

## 2. 干ばつに負けるな！かん水の取組【さとうきび】



久米島町で干ばつが続く中、生産性向上に向けて奮闘する事例が見られます。

かん水チューブの特性を活かし、隔畝での敷設でコスト削減と省力化を図りつつ、さとうきびの着実な生長を促しております。スプリンクラーより大幅に使用水量を減らしつつ、圃場内へムラなくかん水でき、さらに敷設直後から**葉の緑色が濃くなったと効果を実感**しているそうです。南北大東島の点滴かん水チューブをヒントにしたとのことで、今後も干ばつに負けないと意気込んでいます。



農家コメント  
 ・「塩ビパイプ口径は50以上がよい。」  
 ・「脱着可能なコネクターで撤去と再設置も容易に。」

## 3. 苦しい時こそ一歩前へ！久米島町農業青年クラブ(会長 伊敷善武)の取組

久米島町農業青年クラブは、平成27年に再結成され、勉強会や情報交換、視察研修等様々な活動を行っています。近年の物価高騰や生産物価格低迷で苦しいのは農業青年クラブ員も同様であり、辛い状況だからこそ、**現状打破に向けた前向きな取組が必要**だと、各種現地実証やプロジェクト活動、視察研修などをおして、日々、技術研鑽に励んでいます。



プロジェクト事業応募に向けた検討会議。耕種、畜産、それぞれの視点で議論を深め、耕畜連携の取組を模索していた。



リモート講習会。会員相互で教え合いながら受講している。



視察研修。視察先の指導農業士より、数々の貴重な優良技術を学んだ。

(久米島町駐在 平田雅輝)

# 離島情報 (南大東村)

## さとうきびの生産状況

令和5年の降水量は平年値の50%で、記録的な干ばつであったにもかかわらず、令和5/6年期のさとうきびの生産量は、70,869t (平均反収5.4t/10a)であり、7万tを超える生産量を上げることができました。これは、農家の積極的な灌水が功を奏したといえます。



## 南大東村でのスマート農業の状況

南大東村では、スマート農業に向けた技術導入が進み、多岐にわたる実用化に積極的に取り組んでいます。

### ○自動操舵システムの利用



ビレットプランターでの苗植え付けは、自動操舵システムによる自動運転が利用され、蛇行無くまっすぐに苗を植え付けることが可能となっている。また、その後の管理作業や収穫の作業性の効率化にも大きく役立っている。

### ○ドローンによる農薬散布の実用化



←ハリガネムシ対策用交信かく乱性フェロモンチューブの空中散布用に開発されたドローン  
令和6年には本機の改良型を利用し、実際に島の外周の保安林に散布され、実用化されている。

↑強害雑草アサガオ駆除にドローンによる2,4-D空中散布の実用化に向け、動き始めている。

## さとうきび株出し栽培による吸水性ポリマーの施用効果の検証

南大東村は年間降水量が少なく、干ばつが起りやすい気象環境です。そのため、点滴灌水を推進しつつ、土壌水分を確保するため、吸水性ポリマー資材の実用化に向けた検証を始めています。とくに2~3回の株出し栽培が中心である島のさとうきびの安定生産を目指し、実用化に向け取り組んでいます。



根切り作業用の機械を利用して、畦の両側の作溝部分に肥料と吸水性ポリマーを同時施用し、その効果を検証中。

## 地中灌水システムの実用化

土中に点滴灌水チューブを埋設し、長期にわたり根域に直接給水できることが実証され、今後の実用化が期待されます。



(南大東村駐在 稲福政史)

# 南部地区農業青年クラブ連絡協議会

## 会員募集中！ 新規就農者の皆さん一緒に活動しませんか？

当組織は、南部管内6市町村（糸満市・南城市・八重瀬町・南風原町・久米島町・南大東村）の市町村農業青年組織からなる会員73名(内女性13名)の地区組織です。（令和5年度）  
令和6年度南部地区農業青年クラブ役員



たまよせ かねやす

会 長：玉代勢 兼安  
(南城市農業青年クラブ)



よぎ みなこ

会長補佐：與儀 美奈子  
(糸満市農業青年クラブ)



しまぶくろ こうじ

会長補佐：島袋 光司  
(糸満市農業青年クラブ)

### 当組織の特徴

- ① 南部管内市町村において活動。耕種、畜産問わず、情報交換や交流ができます。
- ② 市町村、地区、県、九州、全国の研修・交流会・イベントに参加できるチャンスがあります。
- ③ 組織力を活用して、先輩農家圃場視察や勉強会、プロジェクト活動等を企画・実施することができます。



(普及企画班 金城学)

## 第17回沖縄県マンゴーコンテストで個人・団体賞を受賞！

JA豊見城支店  
マンゴー共選  
部会：當銘氏

山城マンゴー屋：山城氏

(有)コーラルファーム：杉本氏

縁's Farm：山城氏

外間マンゴー：外間氏

第17回マンゴーコンテストが7/11に県中央卸売市場で開催され、県内から44点が出品されました。審査会では外観・玉揃い・糖度・荷姿等が審査され、**優秀賞**に糸満市の「縁's Farm：山城裕樹・真吾氏」「(有)コーラルファーム：杉本翔哉氏」「外間マンゴー：外間順子氏」、**優良賞**には「山城マンゴー屋：山城立基氏」がそれぞれ受賞しました。また「JAおきなわ豊見城支店マンゴー共選部会」が**団体賞**を受賞し、果樹拠点産地としての組織力をPRする機会となりました。

(園芸技術普及班 大城和久)